

# みなさんからの請願・陳情はこうなりました

3月定例会で審査した請願・陳情の採択結果を報告します。

| 件名                         | 提出者  | 要旨                                   | 委員会の意見・結果   | 付託委員会 | 結果   |
|----------------------------|--|--------------------------------------|---|-------|------|
| テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する請願書 | 鳥取市西品治 806<br>鳥取県労働組合総連合<br>議長 田中 暁<br>(紹介議員 大森正治) | テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する意見書を国に提出されたい。 | 組織的犯罪処罰法改正案については、詳細確認ができていない現状であり、不採択とすべきとの意見もあったが、現在は国会での審議をしっかりと見守るべき。継続審査と決した。 | 総務    | 継続審査 |

この請願は、平成 29 年 4 月 23 日の議員任期満了により審議未了となりました。

|  |                                     |  |  |    |  |
|--|-------------------------------------|--|--|----|--|
| 「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情書 | 鳥取市西品治 806<br>鳥取県労働組合総連合<br>議長 田中 暁 | 沖縄の民意を真摯に受け止め、日本国憲法が保障する地方自治の本旨に基づき、住民自治と団体自治を柱とする地方自治を堅持することを求める意見書を関係行政庁に提出されたい。 | 国の安全保障に関わる案件であり、国と沖縄県との間にはわれわれ他県の自治体に関わるべきではない。全会一致で不採択。 | 総務 | <b>不採択</b><br>賛成：1人<br>(圓岡)<br>反対：13人<br>欠席：1人<br>(大森) |
|--|-------------------------------------|--|--|----|--|

## 討論

【賛成：圓岡議員】

大山町が交流を重ねている嘉手納町のホームページを見れば多くの意見書や抗議決議を可決されている。日本政府はこれらの声に真摯に耳を傾けるべき。

【反対：野口昌議員】

北朝鮮もいつ本土に向かってミサイルを撃ち込むかわからない。そういう中で安全保障という観念からどこかにそれを防ぐ、迎撃する施設がないといけない。現在沖縄に米軍基地があり、ここが最も重要な日本の安全保障基地となっている。これは国の問題であり、国としての安全を考えていき、その中からどこに持つていくかを検討すべき。

# 議員発議で国に意見書を提出

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書を可決しました。

## 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにする 것도、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

- |        |           |
|--------|-----------|
| 衆議院議長  | 大島 理 森 様  |
| 参議院議長  | 伊 達 忠 一 様 |
| 内閣総理大臣 | 安 倍 晋 三 様 |
|        | ほ か 4 名   |

第3回  
臨時議会  
4月27日

# 副町長選任議案 反対8・賛成7で

# 否決

一般選挙後初の議会を4月27日に開き、副町長の人事議案のほか3議案が上程されました。副町長の選任議案は賛成7・反対8で否決になりましたが、そのほかの議案は原案通り可決になりました。

## 専決処分

### 大山町税条例の 一部改正

個人住民税の配当割、株式等の譲渡所得の明文化、法人住民税の延滞金の規定、固定資産税の特例を改定するもの

## 質疑

【野口昌議員】耐震構造の建物が対象だが、町民の建物でも対象か。

【税務課長】町内ではまだない。これから申請も出てくると思う。

【野口昌議員】PRも大切だと思いがどう考えているか。

【税務課長】これまでどおりと同じく広報を通じて行いたい。

【野口俊議員】最低限の耐震構造の基準は。

【税務課長】詳細はまだ調べていない。今後は増えてくると思うので担当者と協議を進める。

## 専決処分

### 国民健康保険税 条例の一部改正

国保税の2割および5割軽減の判定所得の算定で被保険者1人の当たりの金額を引き上げる

## 質疑

【大森議員】軽減の枠が広がるがどの位になるか。

【税務課長】算定の最中でまだ正確な数字は出ていない。

## 副町長の選任

会計管理者 野間一成氏を副町長として提案

## 討論

【反対…大杖議員】基金運用の評価損が2.5億円出ている。南海トラフの地震があつたら高い比率の借入金がか心配だ。

【賛成…野口昌議員】利益も上がったこともある。町財政も潤うことも必要。



改選後の初議会

【反対…加藤議員】含み損が出て塩漬けになった長期国債が20億円弱ある。町長や副町長に相談しないで、基金を私的に使って楽しんでる。

【賛成…近藤議員】資金運用は前森田町長の元でしていた。今後の運用については別途考えればよい。

第4回  
臨時議会  
5月10日

可決

# 再度提出された副町長の選任議案賛成8・反対7で

5月10日臨時議会を開きました。副町長の選任（野間一成氏を再提案）、教育長の任命議案ほか任命・選任の5議案は原案どおり可決しました。

## 教育長の任命

元大山小校長 鷺見寛幸氏を教育長として提案

### 質疑

【門脇議員】 教育行政の課題と適任であると判断したポイントは。

【町長】 本町に住み続けたい、帰ってきていただけた子どもたちに育ててほしい。鷺見さんは社会教育にも精通し、本町の出身で、本町に対する愛を感じた。

## 副町長の選任

### 質疑

【大杖議員】 町の大切な資金を使って含み損を発生させた。町長が疑惑の事実説明をしてからでもいいのではないか。

【町長】 不祥事のように言われるが、内規に基づいて行ったもので、総務常任委員会には報告をしている。運用で年間約2300万円の金利が入っている。

【加藤議員】 上司に報告がなかったから始末書を書いている。

【町長】 内規の運用で上司と部下の間にとり違いがあった。内規の見直しをする。

【岡田議員】 必要に応じてと後追いのように作ったよるうだが。

【町長】 曖昧なことを決めた側と受ける側との違いがあった。

【森本議員】 内規にも曖昧なところがある。報・連・相がなく起こった問題、今後どうするのか。

【町長】 時間はかかるが、なんでも言える職場環境をつくる。

### 討論

【反対…門脇議員】 報道された不祥事や基金の含み損を発生させたことは、関係者が声を上げていけば防げたものでは。コンプライアンスを徹底できる外部から選任すべきである。

【賛成…近藤議員】 基金運用は前町長が決めた内規に基づいてのことである。行

政経験の少ない町長には多くの職員をまとめるために内部からの選任が必要である。

【反対…加藤議員】 額面上で買ったものもあるが説明がなかった。十分な説明であったか。

【賛成…野口昌議員】 基金を低金利で預けておくより運用して財政を潤すことも必要である。

【反対…大杖議員】 大山開山1300年祭を控え、県からの支援が必要である。県に人材を求めているかどうか。

【賛成…大森議員】 詳しい説明では基金運用の含み損はその経過の中でのことで、元本は保証されている。

【賛成…西尾議員】 3月議会で総務委員会に説明しているが、その後始末書を書いている。含み損で始末書を書くことは不思議、含み益が出ていた時はどうだったのか。

【賛成…池田議員】 不安だったが、内規に基づいて運用していたことが解明できた。町のことをよく知っている人が適任である。

# 議会の構成決まる

4月27日に開催した、平成29年第3回臨時会で、議会運営委員会・常任委員会の構成が決まりました。

## 【議会運営委員会(定数5)】

- 委員長 岡田 聰
- 副委員長 加藤 紀之
- 委員 米本 隆記
- 大杖 正彦
- 大原 広巳

議会のあり方、役割について今一度よく考え、町民の皆様信頼される議会の実現に向け努めていきたい。

より開かれた議会、町民参加、行政評価が進められるよう努めるべきであり、又、議員間の活発な討議・合意形成により、町民の皆様の福祉向上と地域社会の発展を目指して、町政をより良い方向へ導かねばなりません。

公正かつ円滑な議会運営に取り組んでいきます。

## 【総務常任委員会(定数5)】

- 委員長 米本 隆記
- 副委員長 池田 幸恵
- 委員 近藤 大介
- 大原 広巳
- 杉谷 洋一

総務常任委員会は、所管の事務（総務課・税務課・企画情報課・地籍調査課・会計課）は基より、行政全般を管轄します。他の常任委員会との連携を密にしながら、町民から信頼され、安全で安心して暮らせ、夢が持てるまちづくりをめざします。活発な議論のできる委員会活動になるよう、委員間の融和に努めてまいります。

## 【教育民生常任委員会(定数6)】

- 委員長 大杖 正彦
- 副委員長 門脇 輝明
- 委員 西山富三郎 岡田 聰
- 吉原美智恵 野口 昌作

保育所・小中学校・社会教育・健康保健・福祉事業など幅広く、しかも身近な課題を抱えている委員会です。子育てしやすく安心して暮らせる町が望めます。「人づくりは町づくり」の精神に重点を置いて取り組みます。

## 【経済建設常任委員会(定数5)】

- 委員長 加藤 紀之
- 副委員長 西尾 寿博
- 委員 野口 俊明
- 大森 正治
- 森本 貴之

来年度には大山開山1300年を控え、今が旬な事業課を所管する委員会です。大山が賑わいを取り戻すべく、各委員の経験や新たな視点を生かせるよう委員会としての役割をしっかりと果たしていきたいと思えます。

また、そのほかのインフラ整備や更新など、住民生活に密接に関係する部分でも、町民目線で審議・議論をしていきます。

## 【広報常任委員会(定数8)】

- 委員長 大原 広巳
- 副委員長 森本 貴之
- 委員 野口 俊明 吉原美智恵
- 近藤 大介 米本 隆記
- 門脇 輝明 杉谷 洋一

町民の皆様に読みやすく、多くの情報をコンパクトに凝縮した紙面でお届けします。多くの町民の皆様からの遠慮ないご意見をお待ちしています。

【議会選出監査委員】 西山 富三郎

【鳥取県西部広域行政管理組合議会議員】 杉谷 洋一

【鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員】 杉谷 洋一



# 全国で3年連続 優秀賞(総合第4位)

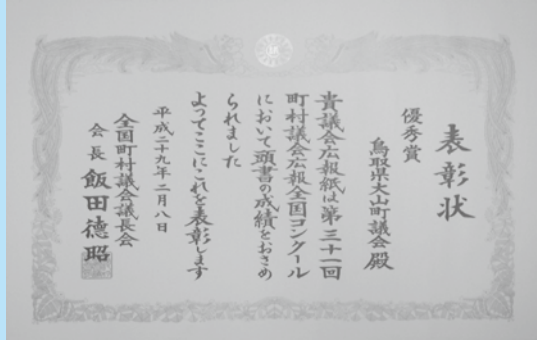
議会だよりだいせん 43号(平成27年12月定例会)が、全国町村議会議長会主催の第31回町村議会広報コンクールで、応募総数291紙の中から全国4位を受賞しました。

町民の皆さまに分かりやすく議会活動を理解していただき「伝わる」広報を目指して取り組んできました。これからも多彩な企画にチャレンジし、皆さまに親しまれる紙面づくりを心がけていきます。

皆さまのご協力と紙面へのご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。

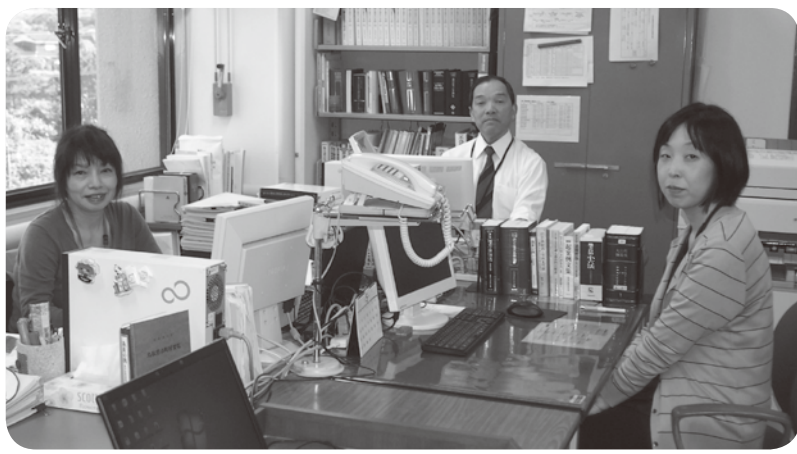
## コンクール審査員の評価

- 随所の見出し内容に目の離せない感があり、活気のある紙面になっている。「読者おもしろい」となっている。
- 重要議案の「否決」を大見出しで示し、ビジュアルな紙面で読者に迫る、議会本来の機能発揮をアピールしている。
- 情報ごとに、紙面の表現を変化させ、視覚的な情報区分をはかっている。
- 観光活性化に向けた「議員間の討論会」「議員と語る会」のレポート、住民の声、取材による特集などバリエーションがある。



## 議会事務局紹介

4月に新しく前田智加子さんが議会事務局職員として着任しました。議会運営がスムーズにいくよう3人のスタッフで議会活動を支えています。



(左から関、手島、前田)



遠藤雅士  
(今在家)

### 大山町米工会

大山町米工会は大山町内に在住する米子工業高校を卒業した皆さんが集う同窓会組織です。三町合併を機にOB諸氏のご尽力で「貢献・存在・研修・交流・親睦」をスローガンに平成18年に設立され、創立10周年の昨年には記念誌の発行を行いました。会員は40代から80代の幅広い年齢層の85名です。その中で4名が町議会議員として活躍中です。活動は、3月の

総会、6月の会報発行、会員研修、今年はJR後藤総合車両所の見学を予定しています。秋の大山一斉清掃への参加、大山町総合文化祭では会員が育てた農産物を出店し毎年好評です。黄色のジャケットが目印です。締め括りは忘年会です。私も退職後入会させて頂き、経験豊富な皆さんと共に明るく元気に活動を楽しんでいます。



貝本朱恵  
(新坪田)

### 大山町に移り住んで

私たちが家族が東京からここ大山町に移住して3年になります。5人の子供たちは、自然豊かで人は穏やか、食べ物も美味しいこの町がすぐ大好きになりました。田舎と都会の一番大きな違い

は「選択肢の量」だと思います。店、仕事、交通手段、どれもとても少ないです。その少ない選択肢のなかから選ばなければならぬことが、私には少々窮屈に感じます。

子供たちの未来を考える時、選択肢の多さは子供の歩く未来の道を広げられると思います。大山町でしか、大山町だからこそ出来る体験や経験を子供たちにもっとさせてあげたいです。この町の強みは人と人とのつながりです。人のつながりを生かし、地域の方と一緒に子育てが出来たら、こんなにうれしいことはないです。



向陽寛孝  
(下甲)

### わが故郷

私はもうすぐ還暦を迎えますが、大学在学中を除いて、わが故郷である大山町に50年以上暮らしています。毎朝、庫裏の窓から眺めることのできる霊峰大山は、幼いころから慣

れ親しんだ風景であり、とても好きです。また、「大山さん」のお陰で、水不足になったこともなく、多くの恵みを頂いております。学生時代、東京での便利な生活に

魅力を感じた時期もありましたが、温かい人間関係に支えられたこの故郷が、私にとって何よりもかけがえのない地域です。大山町のみならず、鳥取県全体で少子高齢化・過疎化が進んでいます。町行政も喫緊の課題として取り組んでおられますが、町民も積極的に様々な意見を出し合い、多くの若者が、この大山町を愛し定住化してくれることを願っています。

### あとがき

4月に議員と町長の改選が行われた。3人の新人議員が加入し、議会もまた新しい風が吹くことが期待される。竹口新町長とともに、間近に迫った大山開山1300年事業に力を合わせていきたい。

また、地方創生事業にも更なる進展をめぐさねばならない。

町民と議会、町執行部との連携強化のため、本誌もスタッフ一同、変わらぬ努力を続けていきたい。

(大原)

- 【発行責任者】 議長 杉谷 洋一
- 【広報常任委員会】
- 委員長 大原 広巳
- 副委員長 森本 貴之
- 委員 野口 俊明
- 委員 吉原美智恵
- 委員 近藤 大介
- 委員 米本 隆記
- 委員 門脇 輝明
- 委員 杉谷 洋一

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会  
〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御米屋328  
☎ 0859-54-5213 ☎ 0859-54-5214

議会だよりのご感想をお寄せください!